

# キケンすぎる！

## 自由のない国にするな！

# 「秘密保護法」廃案へ！



## 12.6宮崎集会

場所：宮崎山形屋前交差点

日時：12月6日（金）

午後6時00分：開会/集会

内容：呼びかけ人・団体・参加者からの訴え

午後6時30分～ デモ

（山形屋前交差点—宮崎県庁）

主催：「秘密保護法」廃案にする市民の会宮崎

呼びかけ人：南邦和（詩人）、藤原宏志（元宮崎大学長）、

青木幸雄（デザイナー）、後藤好成（弁護士）ほか

宮崎から声をあげよう！

「特定秘密保護法案」の廃案まで、あと一歩です。

10月25日に国会に提出された法案は、そのあまりにも危険な本質が知られるにつれ、各方面から反対の声がどんどん上がり続けています。11月21日のSTOP「秘密保護法」大集会は一人一人の力で日比谷野音が埋めつくされました。宮崎市でも11月29日に開催された「秘密保護法」シンポジウムでは、その危険性が確認され、全員一致で廃案へのアピールが決議されました。その後、この法案の廃案をめざし市民の会を立ち上げました。

今、全国の大半の新聞が社説で廃案を求めており、法曹界、言論人に加え宗教界、演劇人など、続々と反対声明が発せられています。安全保障と情報の権利に関する国際基準から大きく逸脱しているとして、海外からも非難ごうごうです。

ニューヨークタイムズなどのメディア、日本外国特派員協会、国連専門家、人権NGOが日本政府を厳しく批判しています。

この法律ができれば、ジャーナリスト、市民運動はもとより、国会議員も処罰の対象となり、裁判も秘密のまま行われます。官僚は情報をいくらでも闇に葬ることができます。情報にかかわる人は周辺も含めて監視され続けます。この国は、国会も司法も手が出せない、官僚独裁の監視国家になつてしまうのです。

政府・与党は密室協議を重ねて、みんなの党、日本維新の会と修正合意しましたが、内容はよりひどくなり、国会での大臣答弁は二転三転するばかり。それでも政府・与党は強行採決を狙っています。

圧倒的多数の市民の声を「廃案！」の一点に結集させ、稀代の悪法「秘密保護法案」をつぶすために、宮崎の地から政府と国会に私たちの声をぶつけましょう！

連絡先：080-4698-0816      メールアド：toyooka\_0816@me.com

Facebook: <https://www.facebook.com/himituhoumiyazaki>